

定例部長会議開催結果 概要

●日時	令和8年4月1日（水） 午後2時30分から午後3時35分まで			
●場所	3A会議室			
●出席者	■は出席（代理出席は○）			
	■ 市長	■ 石原副市長	■ 高橋副市長	■ 教育長
	■ 政策部長	■ 総務部長	■ 暮らし安心部長	■ 文化スポーツ部長
	■ 福祉部長	■ こども健康部長	■ 環境産業部長	■ はだの魅力づくり担当部長
	■ 都市部長	■ 建設部長	■ 上下水道局長	■ 教育部長
	■ 消防長	■		
	進行：副市長 事務局：総合政策課長、総合政策課長代理（政策調整担当）、担当 陪席：秘書課長			
●会議	1 市長あいさつ 2 報告事項 (1) 渋沢丘陵周辺土地利用構想（案）について (2) 繰越事業について (3) 土地利用委員会調整部会の審議案件について 3 その他			[総合政策課] [財政課] [開発指導課]
●会議概要	1 市長あいさつ ・先月26日に閉会した第1回定例会では、新年度予算をはじめとする全ての提出議案が、原案どおり議決された。予算編成から議会終了までの長きにわたり、部局長をはじめとする職員が努力した結果であり、改めて感謝する。 ・4月1日付けで、昇任・昇格者200名、異動者194名、新規採用者35名、合計429名の人事異動を発令した。今回の人事異動は、性別を問わず、若手からベテランまで幅広い世代の職員の能力や実績をしっかりと見極め、職員一人ひとりの力を最大限引き出すことができる人事配置を、基本的な考え方とした。 ・言うまでもなく、まちづくりを担うのは、職員一人ひとりである。まちづくりへの課題が複雑化・多様化する中、主体的に考え、行動する人材の育成、職員の持てる能力を最大限発揮できる職場環境づくりは、組織として欠かすことのできない、とても重要なことであり、部局長にとって大切な仕事となる。 ・2月に策定した「職員（ひと）づくり基本方針」の基本理念「はぐくみ、誰もが働きやすく、のびす職場」と、目指す職員像として掲げた5つの行動指針を念頭に置き、日頃から、職員のモチベーションを高める声掛けや助言、指導、監督のほか、コミュニケーションを密に取りながら、ひとづくり、職場環境づくりに努めていただきたい。 ・特に、新採用職員は、まずは職場に慣れてもらうことが肝要である。市職員としての心構えや仕事に臨む姿勢を身に付け、能力を最大限引き出せるか			

否かは、最初の職場の双肩にかかっているため、その環境づくりができるよう、折に触れての目配りを願います。

・まちづくりについて、私自身の3期目のスタートに当たり、市政に臨む所信の一端は、施政方針や代表質問を通して、十分理解してもらっているものと思うが、秦野市の将来を見据え、これまでに蒔いてきた様々な種は、着実に芽吹き、それぞれが実を結び始めている。この歩みを止めることなく、更なる発展に向け、新たな挑戦の種を蒔き続けていきたい。

・「何もしなければ苦情もない。」という人がいる。しかし、「仕事をするということは文句を言われることだ。」というくらい、良い意味での開き直りの態度をもって、失敗を恐れず、積極果敢に挑戦してもらいたい。

・年度末に、職員提案制度の褒賞授与式があった。今回は、半数近くの職員に提案してもらったが、最優秀賞は、下水道施設課職員の「浄水管理センターの水質日常試験から発生する廃塩化銀について、これまで費用を支払って処分していたものを、逆に売渡す。」というものであった。

・発想を変えるだけで、すばらしい効果を発揮する事例で、年間2百万円ほどの経費が節減でき、組織を改善、改革するヒントは、大なり小なり職場に限らず色々な所にあるため、すべての職員が改めて足下を見つめ直し、市役所組織の末端に至るまで、血が通うよう、一人ひとりが提案に挑戦してもらいたい。

・今年度、総合計画後期基本計画がスタートし、「住んでみよう、住み続けよう、秦野みらいづくりプロジェクト（5つの誓い 2026+1）」をはじめ、5つの基本目標に基づく各部局のそれぞれの施策を確実に推し進め、市民の皆様のウェルビーイング（幸福度・満足度）向上に向け、組織一丸となって取り組んでいきたい。

・4月16日から行う「重要施策ヒアリング」は、今後の政策の方向性を明確にするための大事なヒアリングであり、夏のサマーレビュー、秋から始まる次年度予算編成へとつながるものでもある。このヒアリングに向けて、部局内はもちろんのこと、関係部局とも徹底的に議論してもらい、具体的な目標を持って、それぞれの方針をしっかり見定め、一年間の取組を明確にする決意を表明してもらいたい。

・新年度早々に調整が大変かと思うが、部局長の強いリーダーシップのもと、秦野市のさらなる発展のため、重要施策ヒアリングを皮切りに、様々な議論をしていきたい。

・年度切り替えのこの時期は、色々なことに忙殺され、何かと事務手続きがおろそかになりがちだが、十分注意しながら、事務を進めてもらいたい。

・また、業務の執行、職責を全うするためには、皆さんの心と体が健康であることが最も重要である。日頃から健康管理には十分留意し、それを支える家族を大切にしながら、職務に邁進してもらいたい。

2 報告事項

(1) 渋沢丘陵周辺土地利用構想（案）について

[総合政策課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし

(2) 繰越事業について

[財政課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】

問. 物価高騰対策で、今後使える交付金ほどの程度か。

答. 国から示されている約 13 億円のうち、昨年 12 月の補正と令和 8 年度当初予算を差し引いて、残り約 4 億円となっている。

(3) 土地利用委員会調整部会の審議案件について

[開発指導課]

【説明】資料に基づいて説明

【意見・質疑】なし